

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月21日

当社製品による切削工具の加工シーン

会社名	株式会社 和井田製作所	証券コード	6158
本社	岐阜県高山市片野町2121番地	事業内容	特殊研削盤の製造・販売
代表者	代表取締役社長 森下 博	資本金	8億4,330万円
設立	1946年10月(現在第96期目)	従業員数	195名(連結)

決算ハイライト（連結）

（単位：百万円）

	24/3期 上半期 実績	25/3期 上半期 期初計画※1	25/3期 上半期 実績	前年同期比	計画比
売上高	3,742	3,469	3,883	103.8%	111.9%
売上原価	2,272	2,141	2,406	105.9%	112.4%
売上総利益	1,470	1,328	1,476	100.4%	111.1%
〔売上総利益率〕	39.3%	38.3%	38.0%	▲1.3ポイント	▲0.3ポイント
販売管理費	940	1,048	1,072	114.0%	102.3%
営業利益	529	280	403	76.3%	143.9%
〔営業利益率〕	14.1%	8.1%	10.4%	▲3.7ポイント	+2.3ポイント
経常利益	607	308	394	65.0%	128.0%
〔経常利益率〕	16.2%	8.9%	10.2%	▲6.1ポイント	+1.3ポイント
四半期純利益※2	382	216	226	59.3%	104.6%
〔四半期純利益率〕	10.2%	6.2%	5.8%	▲4.4ポイント	▲0.4ポイント

※1 2024/5/10 開示

※2 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「四半期純利益」として表示しております

貸借対照表（連結）

<資産の部>

(単位：百万円)

	24/3期 期末 (24/3/31) 実績	25/3期 上半期末 (24/9/30) 実績	増減
現金・預金	4,337	4,222	▲114
売上債権	1,771	1,971	200
たな卸資産	2,256	2,407	150
その他流動資産	246	332	86
流動資産合計	8,611	8,934	322
有形固定資産	2,691	2,663	▲28
その他固定資産	844	931	87
固定資産合計	3,536	3,595	59
資産合計	12,148	12,530	381

<負債・純資産の部>

(単位：百万円)

	24/3期 期末 (24/3/31) 実績	25/3期 上半期末 (24/9/30) 実績	増減
仕入債務	416	612	195
有利子負債(短期)	280	366	86
その他流動負債	756	639	▲116
流動負債合計	1,453	1,619	165
有利子負債(長期)	129	286	156
その他固定負債	407	416	8
固定負債合計	537	703	165
負債合計	1,990	2,322	331
純資産合計	10,157	10,207	50
負債・純資産合計	12,148	12,530	381

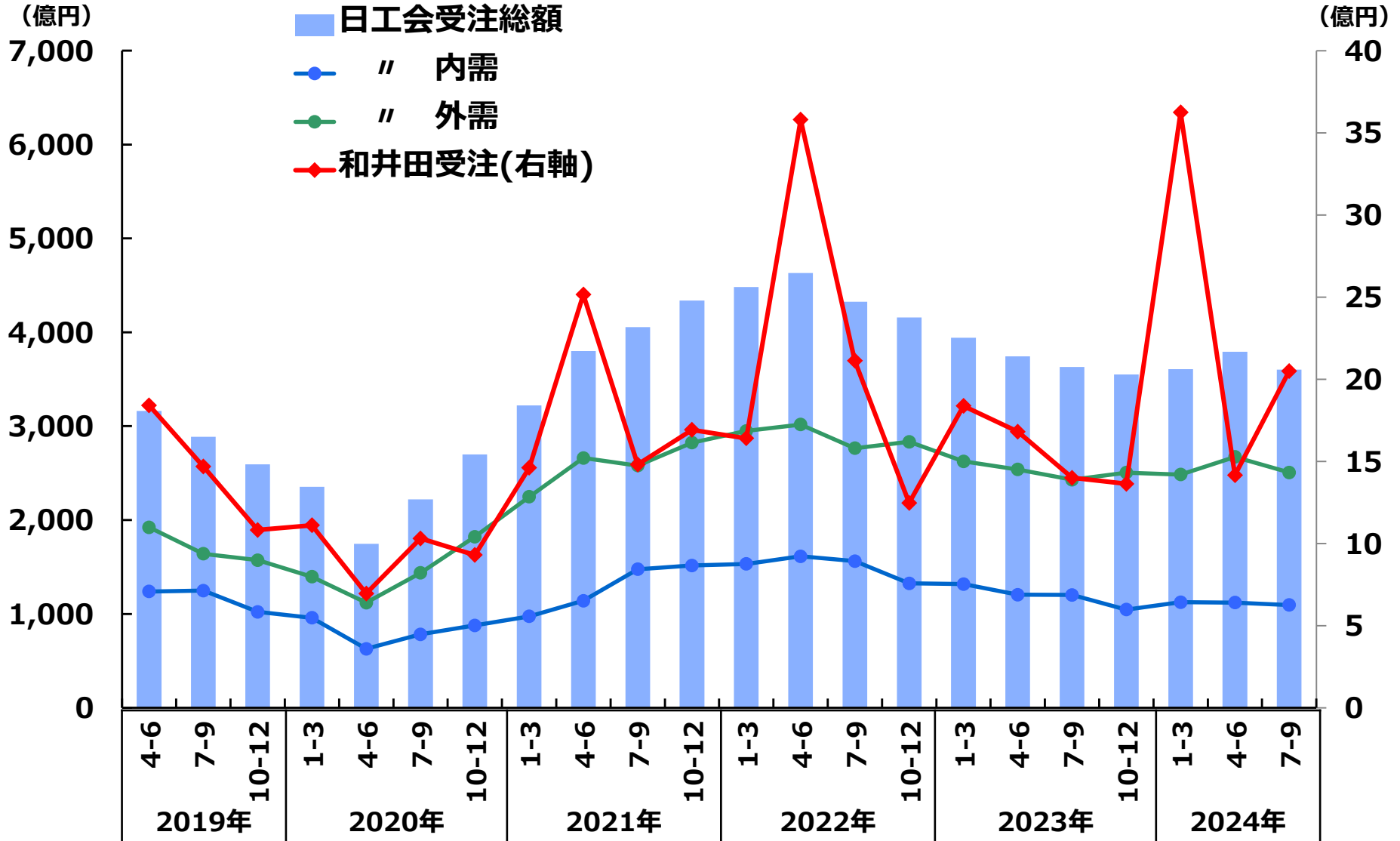
キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	24/3期 上半期 (23/4/1~9/30) 実績	25/3期 上半期 (24/4/1~9/30) 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	898	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲104	▲179
フリー・キャッシュ・フロー（※）	794	▲177
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲252	94
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	▲31
現金及び現金同等物の増減額	580	▲114
現金及び現金同等物期首残高	3,634	3,997
現金及び現金同等物期末残高	4,214	3,882

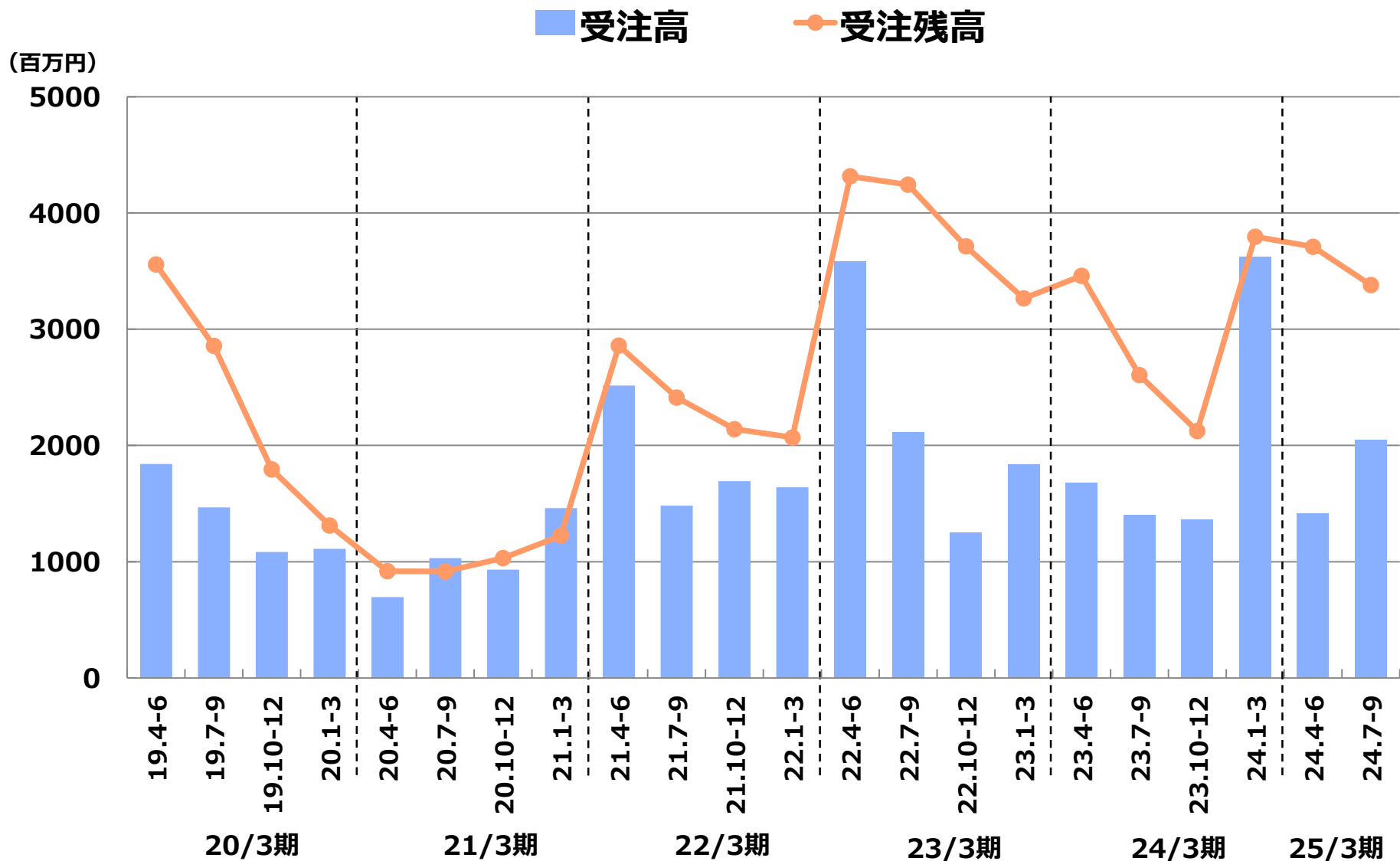
※ フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

日工会／当社 受注の推移



(出所 | 日本工作機械工業会)

当社 受注高・受注残高 (連結) の推移



2025年3月期の通期見通しについて

【上半期の状況】

- ・ 期初の見通しに対し、中国での景気停滞の長期化などにより金型関連研削盤の売上が下振れた一方で、切削工具関連は高位機種を中心に営業展開を進め国内外ともに順調に売上を伸ばしました。この結果、上半期の業績は見通しを上回り、本年11月5日に上方修正を開示しております。

【下半期の見通し】

- ・ 上半期は期初の見通しを上回る結果となりましたが、国内外で設備投資に慎重な姿勢は続いておりまだ市場環境が好転しているとは言えない状況です。
そのため、下半期は概ね期初の見通しそのまま据え置いております。
- ・ 下半期に向けて、引き続き新製品をはじめとする高位機能を中心に、提案営業による需要の掘り起こしに注力し、業績の上積みをめざしてまいります。



国内外の市場環境に力強い動きは見られず、当面は現状の受注水準で推移するものと想定しております。ただし、新製品を中心に引合が活発になっており、下半期業績へのプラス要素として期待をもって受注獲得に取り組んでおります。

研究開発費、欧米向け販売経費、設備更新にともなう減価償却費等の費用は、期初計画の範囲内で推移するものと見込んでおります。

以上の見通しのもと、通期業績見通しも本年11月5日に上方修正しております。

業績見通し（連結）

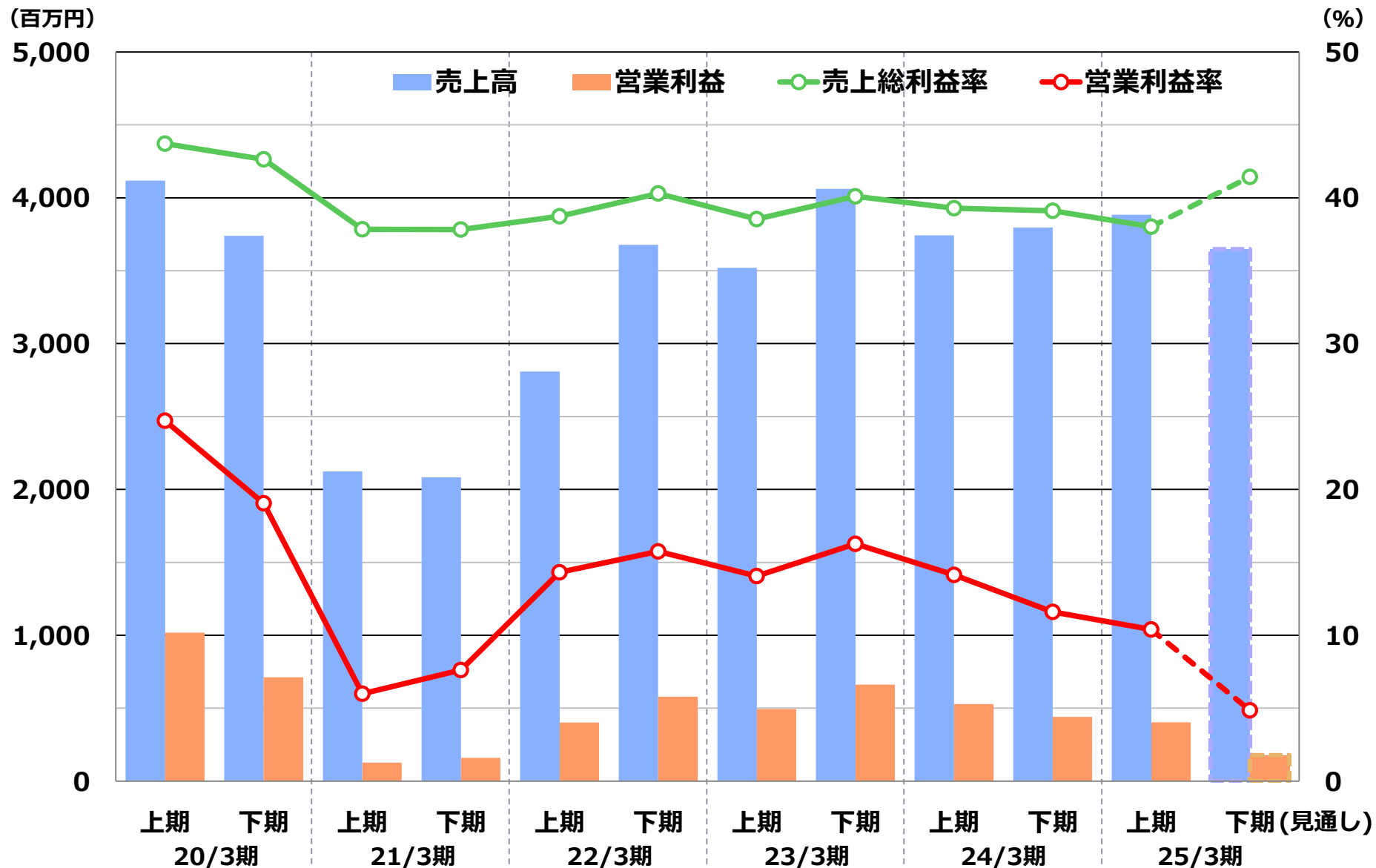
（単位：百万円）

	24/3期 通期 実績	25/3期 通期 見通し※1	前年同期比
売上高	7,538	7,530	99.9%
売上原価	4,583	4,542	99.1%
売上総利益	2,955	2,987	101.1%
〔売上総利益率〕	39.2%	39.7%	+0.5ポイント
販売管理費	1,985	2,406	121.2%
営業利益	969	580	59.9%
〔営業利益率〕	12.9%	7.7%	▲5.1ポイント
経常利益	1,090	627	57.5%
〔経常利益率〕	14.5%	8.3%	▲6.1ポイント
当期純利益※2	727	382	52.6%
〔当期純利益率〕	9.6%	5.1%	▲4.6ポイント
配当金（1株当たり）	年間 40円	年間 32円(予定) ※3	年間 ▲8円(予定)

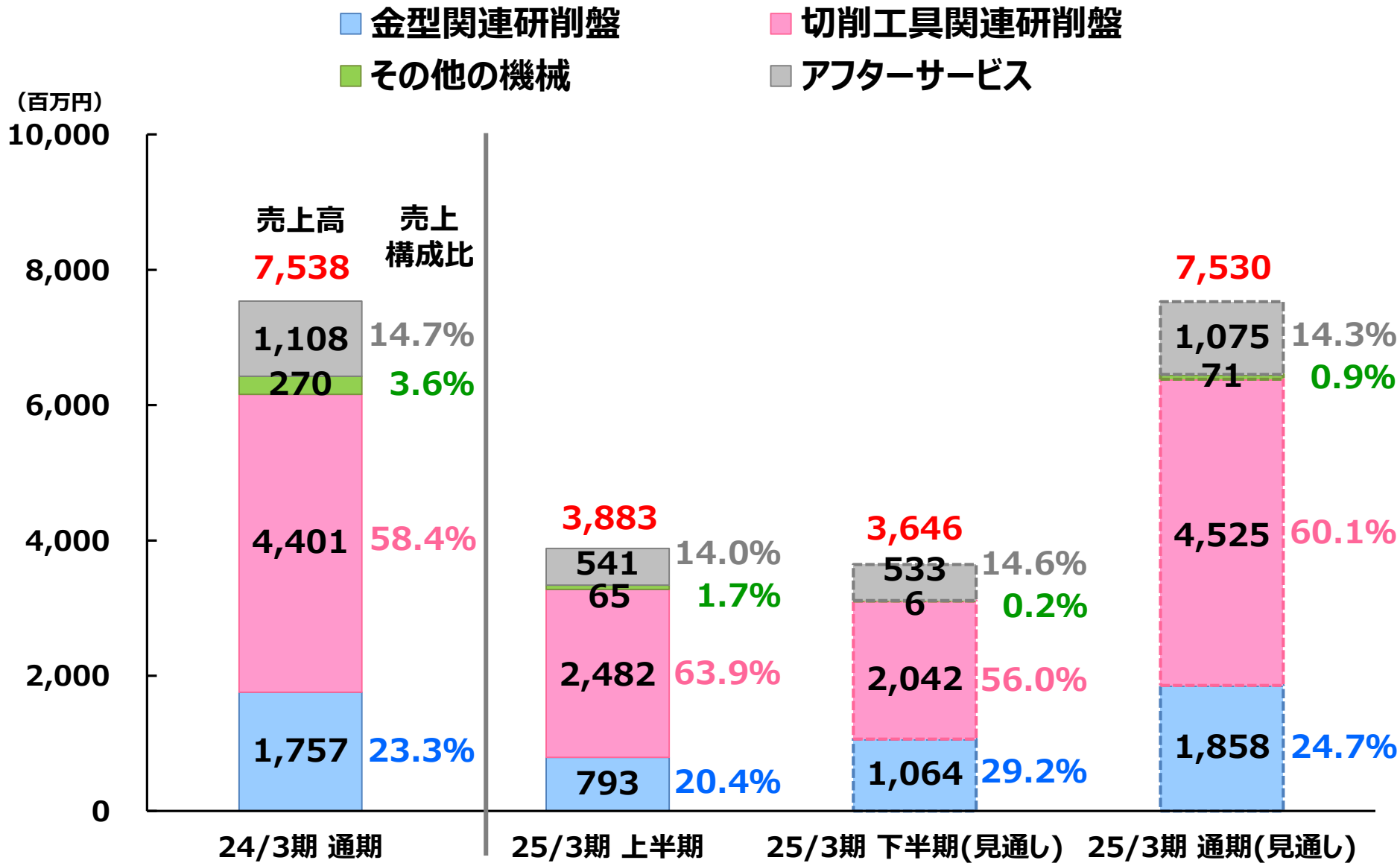
※1 2024/11/5 開示 ※2 「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として表示しております

※3 中間配当の1株当たり16円と期末配当の1株当たり16円（予定）を合わせ、年間では1株当たり32円を予定しております。

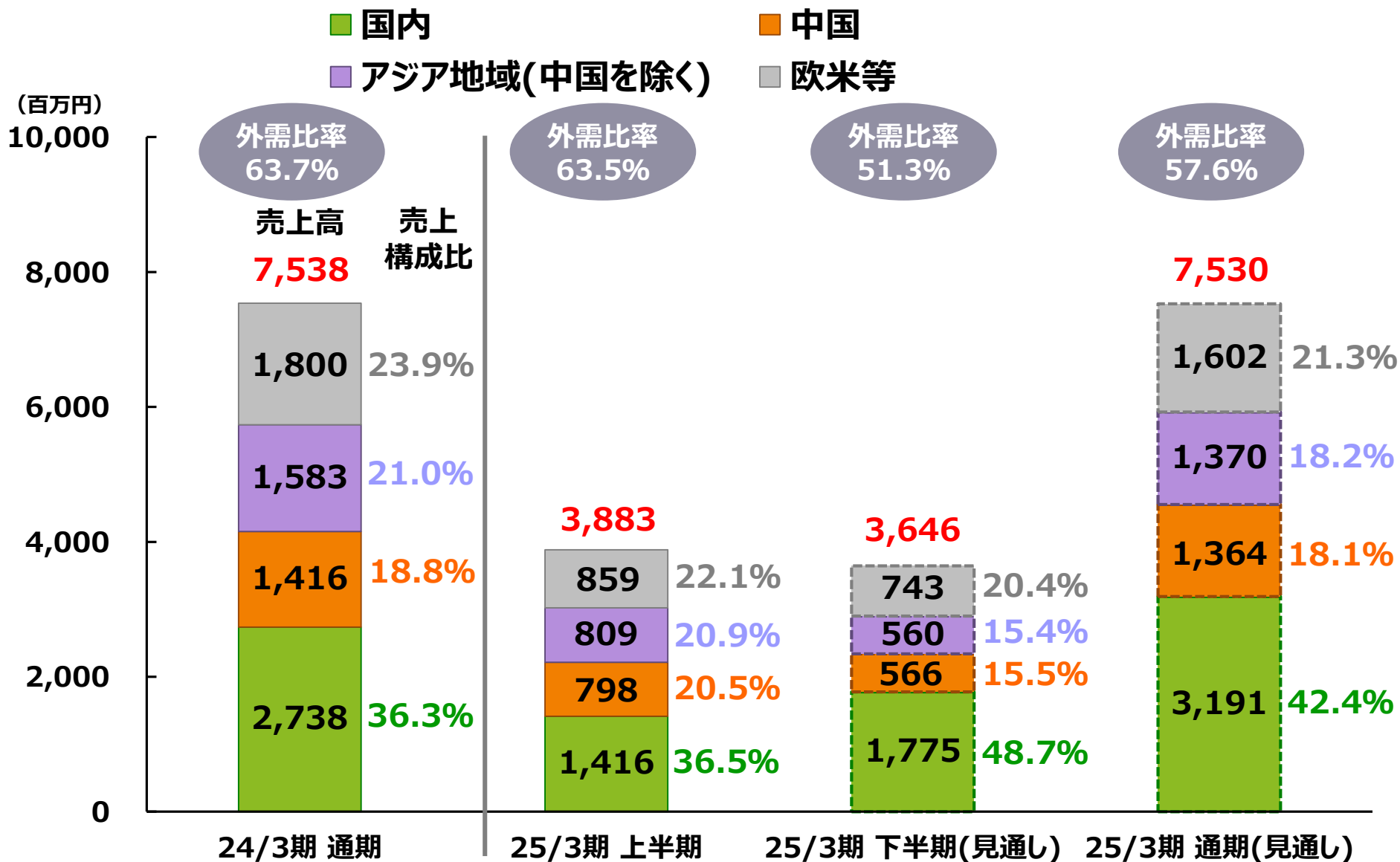
業績推移見通し（連結）



品目別売上高見通し（連結）



地域別売上高見通し（連結）（※）



※ 最終据付地ベースで集計しております。

中長期課題への取組み

【米国子会社の設立】

海外営業戦略の一環として、現在のアメリカ ノースカロライナ支店を現地法人化（連結子会社化）いたします。

2025年1月に設立する予定で準備を進めており、北米域でのさらなるシェア拡大に向けて、営業強化、アフターサービスをはじめとする顧客サポートの充実を図ってまいります。

【機械工業デザイン賞の受賞】

「デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV」が、第54回（2024年）「機械工業デザイン賞 IDEA（主催：日刊工業新聞社、後援：経済産業省）」の「日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞いたしました。

機械工業デザイン賞の受賞は7回目となりますが、今回の「日本力（にっぽんぶらんど）賞」は、当社において過去最高となる権威ある賞です。

受賞製品は「誰もが研削の達人へ」をコンセプトに開発され、最新のデジタル表示機能などにより、スキルレスで高精度、高生産性を実現していることが評価されました。



デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV

中長期課題への取組み

【JIMTOF2024に出展】

JIMTOF2024（第32回 日本国際工作機械見本市）に出展いたしました。
この展示会は隔年で開催されており、今回は「研削盤の新時代－自動化と究極の精度の融合－」をテーマに、デジタル化・自動化への取り組みをお客様にアピールいたしました。

【会期】 2024年11月5日(火)～10日(日)

【会場】 東京ビッグサイト(東京国際展示場)

【出展機種】

◇デジタルプロファイル研削盤 SPG-Z1

デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV に協働ロボットとATC/AWC(工具や加工対象部品の自動交換装置)を搭載した自動化提案

◇全自動インサート外周研削盤 APX-30

加工対象部品を収納するパレットの自動交換・移送装置 (AMR使用) を組み合わせた自動化提案

◇デジタルプロファイル研削盤 SPG-XV

◇超精密ジグ研削盤 SJG-L1

◇ダイヤモンドインサート刃先研削盤 DCG-G1



展示会場の様子



本資料には、将来の業績見通し等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提に基づいて作成しております。従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知ください。

<https://www.waida.co.jp>

問い合わせ先： 経営企画部

TEL：0577-32-0390

E-mail：ir@waida.co.jp